



しょうほ 正保みきお



大つきかおり



赤羽目たみお

くらしに寄り添い支え助け合う社会に

謹賀新年

新型コロナウイルス感染が拡大する中、多くの区民からPCR検査拡充やくらし支援を求める声が寄せられています。日本共産党区議団は、PCR検査センターの設置や保健師の増員、区内業

者への家賃助成など実現してきました。引き続き、検査や医療体制の強化、くらし支援に力を尽くします。また、これまでの経済効率を優先し、自己責任を押し付ける社会から、支え助け合う新しい社会にするため、今年も全力で頑張ります。

新型コロナウイルス対策の抜本的拡充を

第4回定例会(11月26日〜12月21日)では、正保みきお議員が本会議で代表質問を行いました。

に防止するための社会的検査の必要性について区の見解をただしました。区は社会的検査の必要性について言及を避けました。

公費による社会的検査を

正保議員は無症状で感染力のある陽性者を早期に見出し、感染拡大を事前

また、都補助を活用した高齢者・障害者通所施設でのPCR検査をさらに(2面に続く)



年末年始の特別対策を申し入れ

日本共産党区議団は12月17日、区に対し「コロナ禍における年末年始の特別体制並びにくらし守る施策の拡充を求め」申し入れを行いました。申し入れでは、年末年始の休庁中も十分な検査を行うことや感染者を保護する体制をとること、生活困窮者に対応する相談窓口の開設、中小業者支援の強化等を要請しました。

皆さんと実現しました!

医療・検査体制の拡充

- PCR検査センターの設置
- 高齢者施設・障害者施設の職員・利用者にPCR検査を実施
- インフルエンザ予防接種費用の無料化の対象拡大

中小企業・生活支援

- 公共施設使用料の値上げ延期
- 新型コロナウイルス対策緊急融資の実施
- 区内業者への家賃助成を実施

介護・障害者福祉

- 窓口にヒアリンググループ設置
- 障害者入所施設の整備
- 介護・障害者施設等に運営費助成

子育て支援

- 公有地に認可保育園の増設
- 有明子ども家庭支援センター開設
- 就学援助の入学準備金の増額

防災対策

- 水害ハザードマップの全戸配布
- 拠点避難所に発電機を設置

区民の声を届け、安心して暮らせる江東区に!

第4回定例会

「障害者入所施設の整備等を求める」陳情が採択

医療的ケアが必要な重度障害者を長年在宅で介護されている家族から提出された陳情が採択されました。

陳情は、①利用可能な短期入所施設の整備と質的な充実を図ること、②短期入所施設を利用する際の利用相談体制の充実を求めるものです。現在、塩浜の

国は、新型コロナウイルス感染拡大を理由に行政のデジタル化政策を一気に進めようとしています。江東区も国の補助金を活用して、来年度、区立小・中学校の全ての児童・生徒にタブレット端末を配布するとしています。

今回、学校内のネットワーク環境の整備等を行うための補正予算が組まれましたが、授業でタブレットをどのように活用していくか等、十分な検討がされていません。日本共産党は、タブレットの活



赤羽目たみお議員

用を否定するものではありませんが、年間10億円以上の経費が毎年かかることや子どもたちへの健康被害、人と人との関わりが薄くなり、社会性を身に付けるといふ大事な教育が不十分になることなど、問題が指摘されています。

コロナ禍のもとで今必要なことは、3密を防止、子どもに寄り添い手厚い教育が行える「少人数学級」を早期に実現することです。



のりしろ

正保みきお議員



(1面続き)
拡充し、集団感染が発生すると影響が大きい保育園・幼稚園、学校、学童クラブ等でも公費による定期的な社会的検査の実施を求めました。区は、「実施する考えはない」と答弁。

追跡専門トレーサーの配置を

正保議員は、感染者経路の不明者

が増加していることから、感染追跡の専門トレーサーの確保を求めました。区はトレーサーの必要性を認めながらも「人材の養成・確保は国の責任」としました。



ヒアリンググループを 公共施設に拡充を

正保議員は、ヒアリンググループの

「ごみの減量、リサイクルの推進を！」



大つきかおり議員

江東区内には都内最大規模の新興江東清掃工場と有明清掃工場があり、23区の可燃ごみの17・5%を焼却するなど、23区のごみ焼却で

江東区は過大な負担をしていますが。平成20年の特別区長会総会では、「自区内処理の原則」「清掃負担の公平」をもとに、自分の区で発生したごみを区内の清掃工場で処理できない場合、一定量について負担金を支払う仕組みが導入されました。

この間、負担金制度の見直しを検討してきた特別区長会では11月、金銭による調整の仕組みを維

持するとともに、各区のごみ減量の取り組みが反映される仕組みに見直し、さらに23区全体として可燃ごみを平成20年度と比べ、一人当たり20%の削減を目指すこと、プラスチック製容器包装類の分別・リサイクルの取り組みを一層進めることで合意しました。

地球環境を守るために、ごみは燃やさず、減量・リサイクルを一層進めることが必要です。



のりしろ

語症の理解促進に努める」、派遣事業実施については「支援の必要性を認識している。派遣のあり方を研究する」と答弁。

障害者入所施設の整備 当事者・家族の意向反映を

塩浜に新設される障害者入所施設について、入所選定や医療的ケアが必要な方の受入れ等、当事者・家族の意向を十分反映させるよう求めました。

要介護者の介護保険外し 検討中止を求めよ!

厚労省が進める総合事業の「対象の弾力化」は、要介護1、2の生活援助を介護保険の給付からはずし総合事業に移行するための途をつけるものと批判。「対象の弾力化」の検討中止を強く求めました。区の総合事業については「慎重に検討する」としたものの、「国に撤回を求める考えはない」と答弁。

特養ホームの整備促進を

特養ホームの待機者が1400人は超えており、施設整備は「待ったなし」です。正保議員は、全庁挙げた取り組みを求めました。



のりしろ

区民アンケート

・都立病院の独立行政法人化についてお聞かせください。

賛成 反対 どちらとも言えない

・都立病院の独立行政法人化についてご意見があればお聞かせください。

・区議団ニュースの記事の感想や区政に対するご意見などがあればお聞かせください。

・よろしければお書きください。

氏名 _____ 年齢 _____

住所 _____

電話番号 _____

のりしろ

キトリ

キトリ

視覚障害者の 転落事故

江東区議会が鉄道事業者に 安全対策を求め要望書

昨年11月、東京メトロ東西線東陽町駅において、視覚障害者の男性がホームから線路に転落し、死亡するという大変痛ましい事故が発生しました。

東陽町駅では、ホームドア設置工事が完了し、令和3年2月の稼働を予定していたところですが、今回の事故を受け、稼働時期の前倒しや危険箇所調査と安全対策の改善を早急に図ることが求められています。

江東区議会は、区民や利用者の命を守ることを最優先に、行政や鉄道事業者とも連携し、引き続き

安全対策に取り組む決意を表明するとともに、各鉄道事業者に対して、ホームドア設置等の更なる安全対策の推進を求め、要望書を送付しました。

日本共産党は、事故後、国会議員団や都議団も視覚障害者団体の皆さんとともに調査を行い、国や都に対策を求めています。



現在の東西線東陽町駅のホーム

議会日程(予定)

30	23	22	18	17	15	12	11	10	9	8	~	3/1	25	24	15
本会議	介護保険制度特別委員会 高年齢者支援・ 交通対策特別委員会	防犯・まちづくり・ オリンピック特別委員会	オリンピック・ 臨海部対策特別委員会	清掃港湾・ 清掃港湾	本会議	議会運営委員会(13時~)	文教委員会(13時~)	区民環境委員会 厚生委員会(13時~)	企画総務委員会 建設委員会(14時~)	予算委員会	予 算 委 員 会	本会議	本会議	本会議	請願陳情締切日

日程は変更になる場合がありますので
事前にお問い合わせください。



差出有効期限
2022年12月
22日まで

1 3 5 8 7 9 0

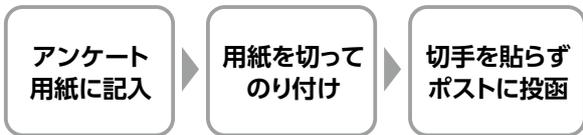
0 0 1

江東区東陽4-11-28
江東区役所気付

日本共産党江東区議団 行



出し方



区民アンケート

・都立病院の独立行政法人化について

該当する項目に✓を入れてください。

知っている

知らない

都立病院の「独立行政法人化」とは…

都立病院は、感染症や周産期医療など不採算医療に税金を投入し運営しています。

東京都は、民営化に近い「独立行政法人化」に変え、経費を削減しようとしています。

独法化された病院では、財政削減による患者負担増、医療縮小、職員確保が困難な事態になっています。

やまわり